

鬼北町立広見中学校

道徳通信

道徳教育推進教師 酒井 智有

NO. 57

令和8年4月15日発行

よりよく生きる

4月9日(木)に、51名の新入生が入学し、全校生徒163名での広見中学校の新年度がスタートしています。各学級では、まずは集団の仲間づくり、友達や学級担任との信頼関係づくりを深めていくことを目指して、日々、学校生活を過ごしているところです。新しい環境にも、少しずつ慣れてきているのではないのでしょうか。学級という集団のメンバーは、これから1年間、道徳の授業でも一緒に学ぶ仲間にもなりますので、お互いに遠慮せず素直に意見が言い合える関係を築いてほしいと思います。そのことが、道徳の授業を充実させるベースになっていくはずです。

さて道徳通信第57号では、新学習指導要領の特別の教科道徳の目標を紹介いたします。

道徳科の目標

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

・「自己を見つめる」とは…

真摯に自己と向き合い、自分との関わりの中で道徳的価値をとらえながら、自己や社会の未来に夢や希望を持てるようになることを意味します。

・「物事を広い視野から多面的・多角的に考える」とは…

人としての生き方や社会の在り方について、多様な価値観の存在を前提にして、他者と対話し協働しながら、物事を広い視野から多面的・多角的に考察していくことを意味します。

・「人間としての生き方についての考えを深める」とは…

自己の人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるかということにおいて、道徳的視点から深く考えていくことを意味します。

・「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」とは…

様々な状況下において、人間としてどのように対処することが望まれるかを判断する力の育成、道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情の育成、これらの判断力や心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志を育成していくことです。

生徒の皆さん、保護者の皆様、道徳教育は、人が一生を通じて追及すべき人格形成の根幹に関わるものです。道徳の授業などを通して、ぜひ真剣に考え、みんなと議論しながら、よりよく生きるための基盤を培っていきましょう!!!

【参観授業の御案内】

4月19日(日)は、PTA参観日、PTA総会を予定しております。今年度初の参観授業は、全学級が道徳の授業を行います。保護者の皆様、当日はぜひ、御来校いただき、お子様の授業に取り組む様子を見ていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。